



1. 2024年3月期 1Q 決算概要
  2. 2024年3月期 通期業績見通し
  3. 重点取組み事項
- ## Appendix

### 【DISCLAIMER】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

# 2024年3月期 第1四半期決算 概況

## 【第1四半期決算のポイント】

前第1四半期から当第1四半期にかけて、非鉄金属市況や為替等、当社をとりまく外部環境が著しく変化しております。資源高や円安に伴い、2022年3月期の好調さが継続した前第1四半期は、当社グループにとって四半期経常利益としては最高益であったことを鑑み、前期各四半期ごとの推移を俯瞰しながら当第1四半期の業績を振り返ります。

### 【売上高】

**423億円**

### 【経常利益】

**15億円**

### 【通期売上高予想】

**1,860億円**

### 【通期経常利益予想】

**82億円**

◆自動車関連分野においては、数量増による増収はあったものの、スマートフォン等のIT関連機器の民生需要は在庫調整局面からいまだ脱却できていないことに起因する減収が大きかった。前年同期比 44億円の減収。

◆非鉄金属市況の下落に加え、当社注力3分野における需要の減少やコスト増加分の価格転嫁のタイムラグが発生。前年同期比 27億円の減益。

◆四半期単期の経常利益額は既に底を打ち、回復傾向。  
(期初見通しは売上、利益ともに「前半<後半」の構図)

◆当年度の下半期には自動車生産の復調に加え、スマートフォン等のIT関連機器の生産が持ち直すという前提の下、通期予想の82億円は据え置き。

- 1. 2024年3月期 1Q 決算概要**
  - 2. 2024年3月期 通期業績見通し**
  - 3. 重点取組み事項**
- Appendix**

# 業績概要 (2024年3月期 第1四半期)

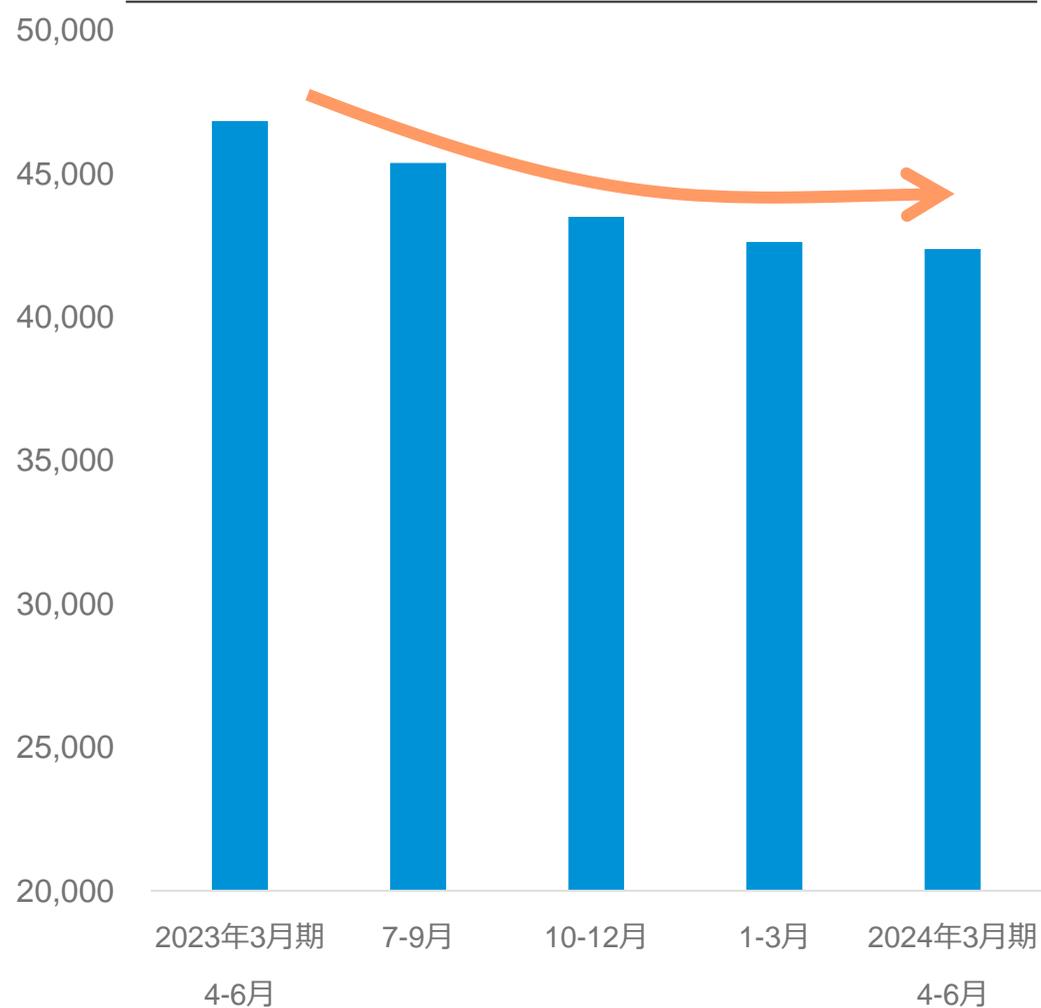
(百万円)

	2024/3月期 1Q	2023年3月期 1Q	増減率 (%)	2024/3月期計画値	
				期初予想	進捗率
売上高	42,370	46,837	△ 9.5%	186,000	22.8%
売上総利益	5,748	7,590	△ 24.3%	26,000	22.1%
営業利益	1,595	3,931	△ 59.4%	8,400	19.0%
経常利益	1,530	4,251	△ 64.0%	8,200	18.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	858	2,718	△ 68.4%	5,500	15.6%
1株当たり 四半期純利益 (円)	28.53	90.41	-	182.68	-
EBITDA (参考)	2,730	4,960	△ 44.9%	12,800	21.3%

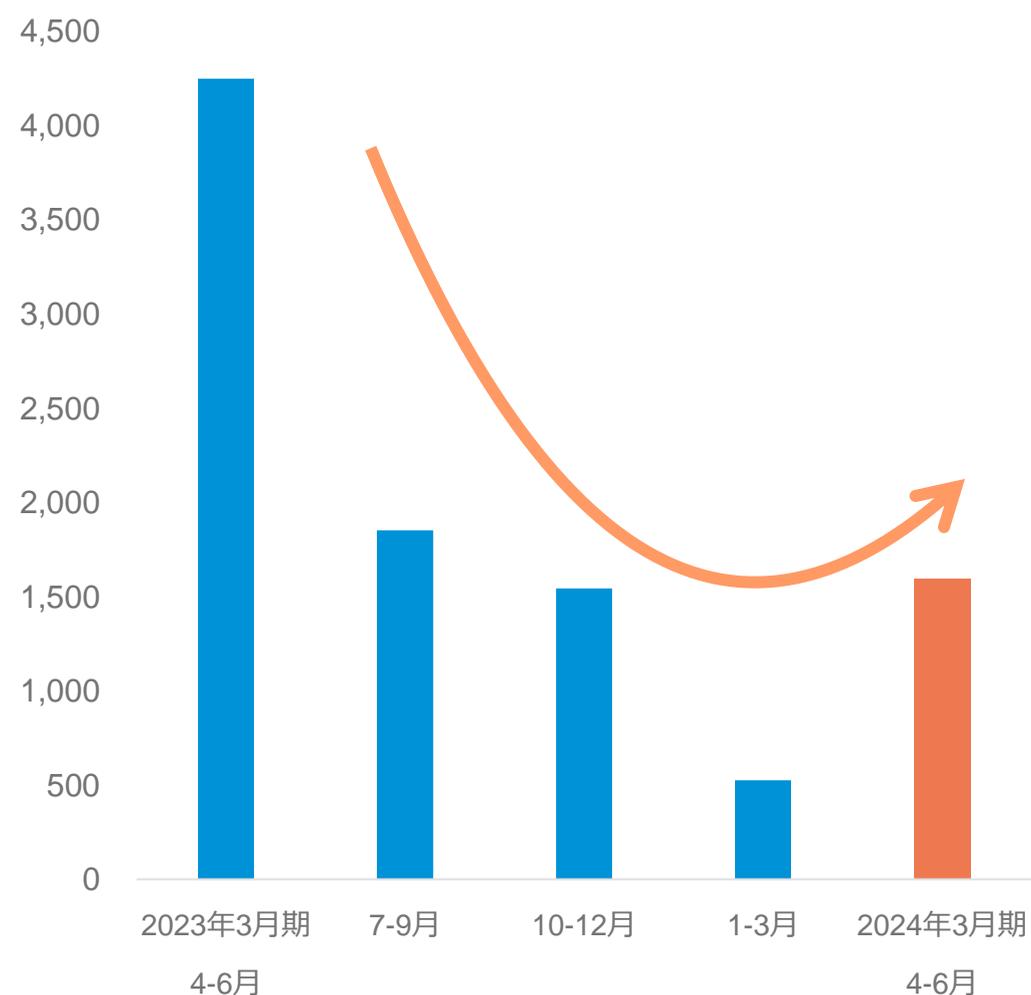
# 四半期別業績推移

四半期ごとの経常利益は既に底打ち

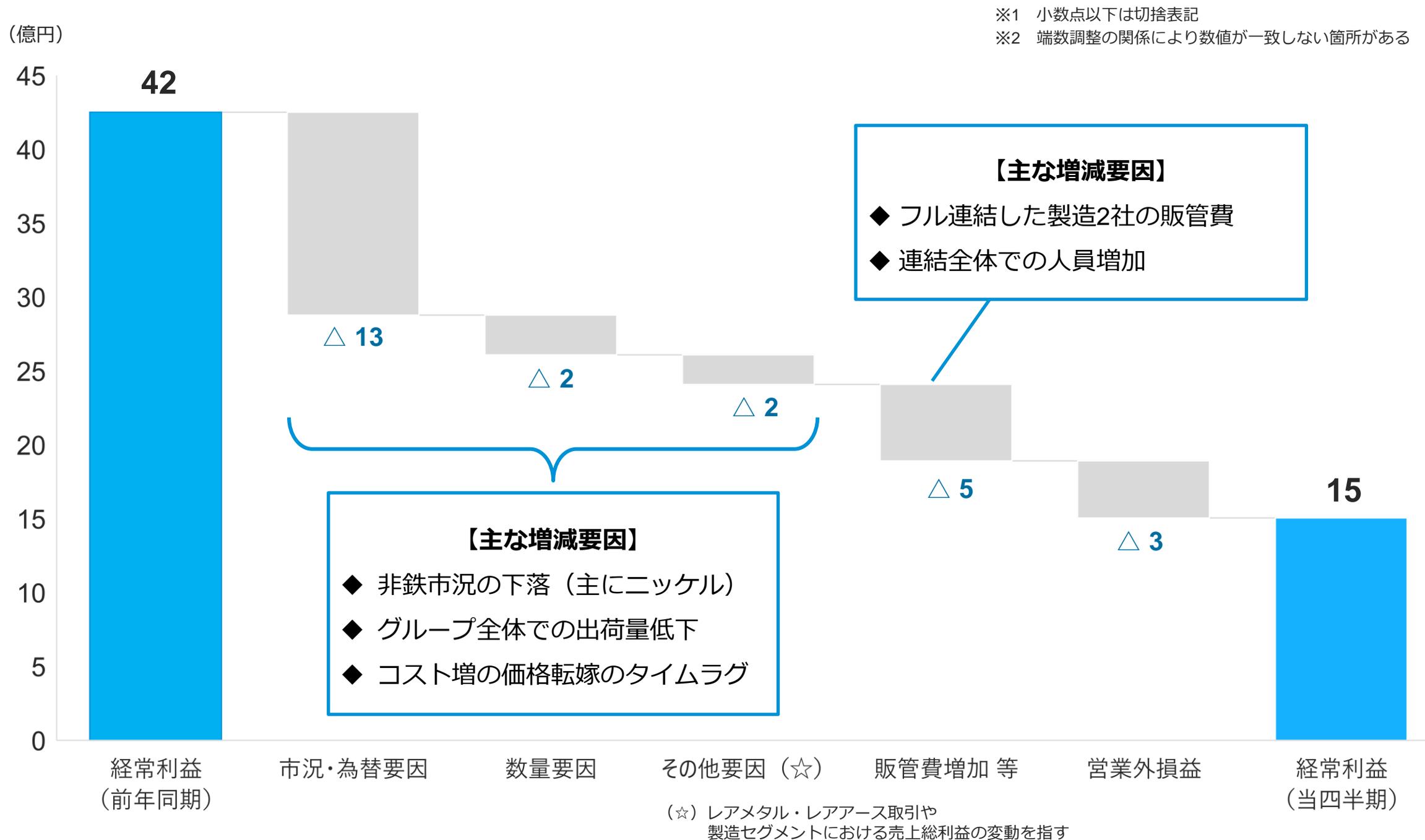
四半期ごとの売上高 (百万円)



四半期ごとの経常利益 (百万円)

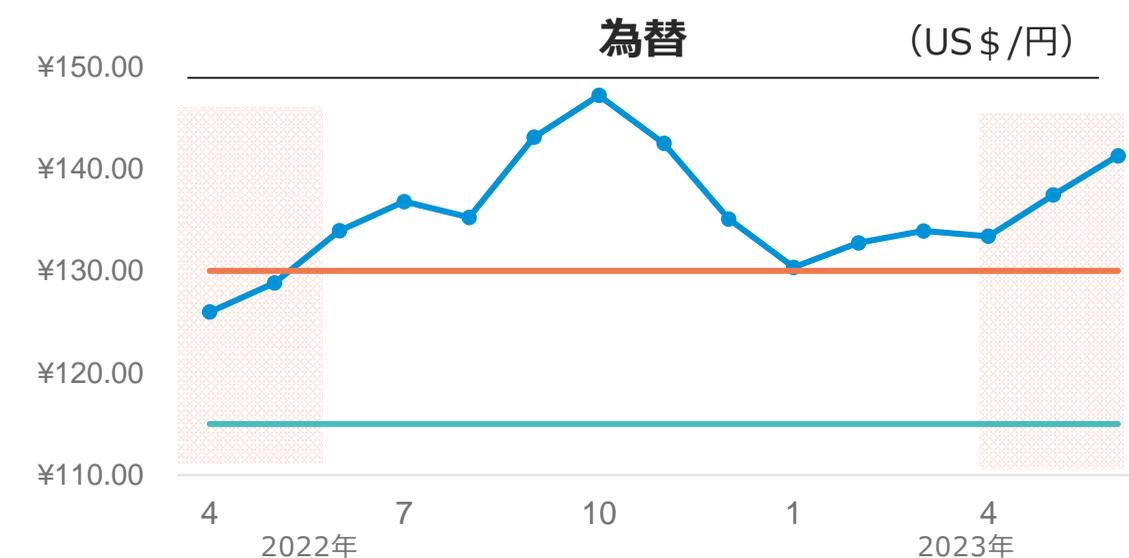
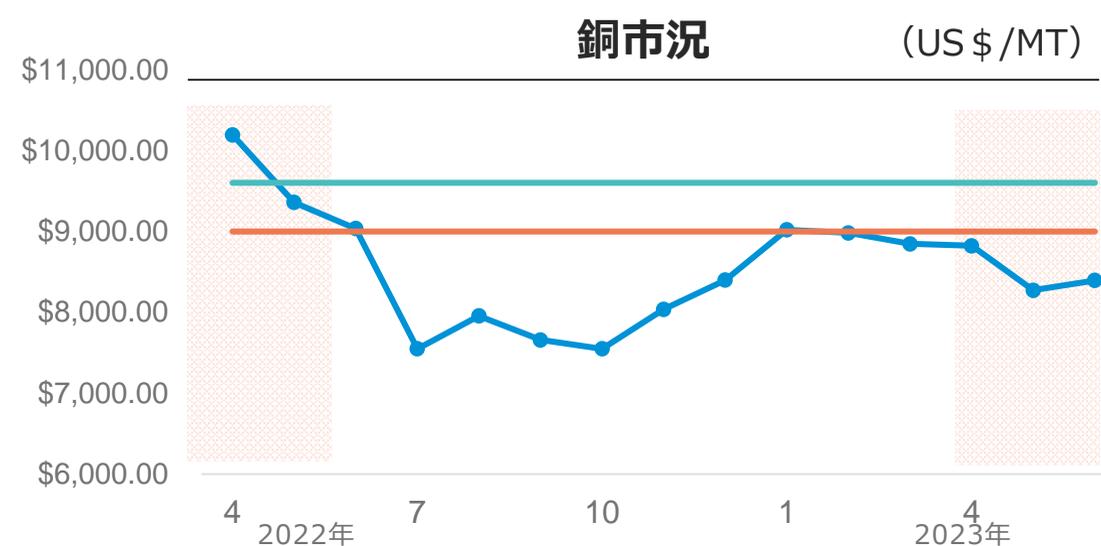
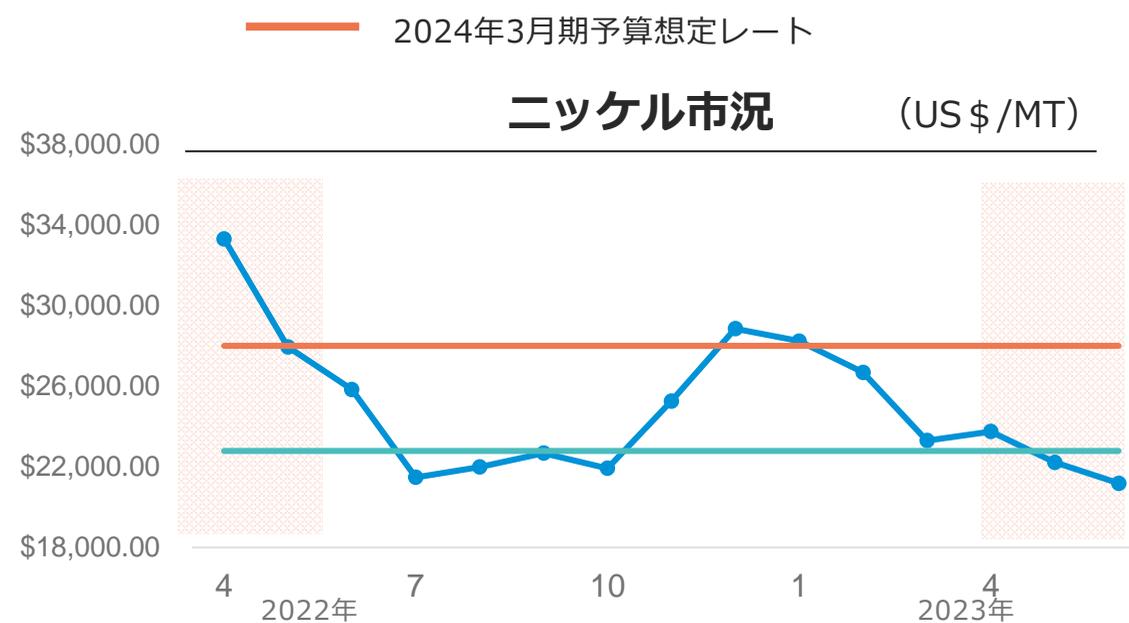
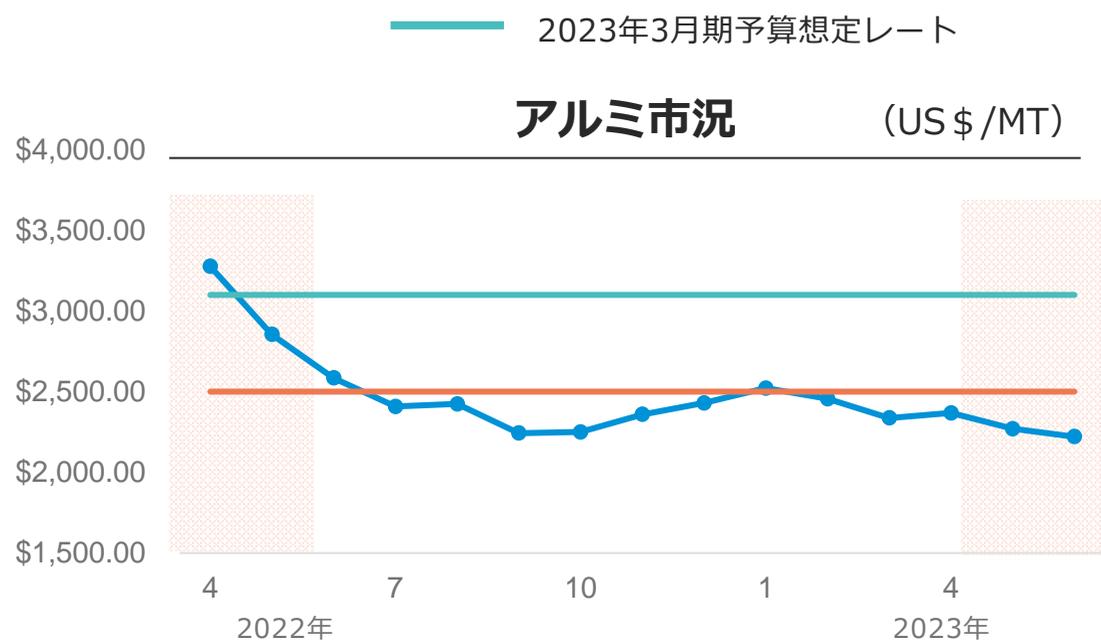


# 経常利益の増減分析（前年同期比）



# 非鉄金属市況・為替の動向

予算策定時想定よりも 相場安・円安が続く



# セグメント別業績（前年同期比）

（百万円）

		2024/ 3月期 1Q	構成比	2023/ 3月期 1Q	増減 (百万円)	増減率 (%)	2024/ 3月期計画値		
							期初予想	進捗率	
商社流通	電子機能材	売上高	6,983	16.5%	13,109	△ 6,126	△ 46.7%	47,000	14.9%
		セグメント利益	436	28.5%	1,830	△ 1,394	△ 76.2%	2,100	20.8%
	アルミ銅	売上高	17,443	41.2%	17,284	+158	+0.9%	66,000	26.4%
		セグメント利益	183	12.0%	962	△ 778	△ 80.9%	900	20.4%
製造	装置材料	売上高	9,887	23.3%	9,580	+306	+3.2%	42,000	23.5%
		セグメント利益	△ 99	△ 6.4%	426	-	-	1,600	-
	金属加工	売上高	8,056	19.0%	6,862	+1,194	+17.4%	31,000	26.0%
		セグメント利益	1,006	65.7%	1,037	△ 31	△ 3.0%	3,600	27.9%
	(セグメント間利益消去等)	3	0.2%	△ 4					
合計	売上高	42,370	-	46,837	△ 4,467	△ 9.5%	186,000	22.8%	
	経常利益	1,530	-	4,251	△ 2,721	△ 64.0%	8,200	18.7%	

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

# 【商社流通】セグメント別業績（前年同期比）

(百万円)

		2024/3月期 1Q	2023/3月期 1Q	増減 (百万円)	増減率 (%)	業績比較	
商社流通	電子機能材	売上高	6,983	13,109	△ 6,126	△ 46.7%	<p>◆ ニッケルの市況下落に加え、一部のスマートフォン向けの電池材料の取扱数量の減少により減収減益。</p> <p>【その他 電子・電池材料関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車向け等が堅調に推移</li> </ul>
		セグメント利益	436	1,830	△ 1,394	△ 76.2%	
	アルミ銅	売上高	17,443	17,284	+158	+0.9%	<p>◆ 前年同期の市況の高騰という特殊要因は剥落。アルミは取扱数量が増加したが市況の下落により減益。銅は取扱数量の減少に市況の下落も加わり減益。</p> <p>【自動車向けアルミ関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市況下落の影響もあったものの取扱数量の増加により増収</li> </ul> <p>【伸銅品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫調整局面により取扱数量が減少し減収</li> </ul> <p>【リサイクル関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銅の取扱数量が減少、アルミの取扱数量は増加</li> </ul>
		セグメント利益	183	962	△ 778	△ 80.9%	

# 【製造】セグメント別業績（前年同期比）

(百万円)

		2024/3月期 1Q	2023/3月期 1Q	増減 (百万円)	増減率 (%)	業績比較	
製造	装置材料	売上高	9,887	9,580	+306	+3.2%	<p>◆ 増収を確保するも、原材料価格の高騰やエネルギーコスト、人件費の増加分の価格転嫁にタイムラグがあり減益。</p> <p>【めっき材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国・中国における、自動車や電子部品向けのめっき材料の取扱高は外貨建てで減収</li> <li>・ 原価率の上昇により減益</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 価格転嫁にタイムラグがあり減収減益</li> </ul>
		セグメント利益	△ 99	426	-	-	
	金属加工	売上高	8,056	6,862	+1,194	+17.4%	
		セグメント利益	1,006	1,037	△ 31	△ 3.0%	

# 当社取扱品目マトリックス／戦略領域のセグメント別内訳

戦略領域：注力3分野

営業基盤の増強と  
投資効率を重視した設備投資

(凡例) ※売上総利益ベース  
 前年同期比増加  
 前年同期比減少

	主な 関連子会社	自動車 (部品・材料)	半導体	電子材料 電子部品	その他
電子 機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバンストマテリアルジャパン</li> <li>・ANDEX</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EV/FCV部品材料</li> <li>・車載電池用材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体各種材料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯機器端末部品材料</li> <li>・IT機器部品材料</li> <li>・各種電池材料 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊鋼素材 (レアメタル) ※ニッケル、モリブデン等</li> </ul>
アルミ銅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林金属</li> <li>・アルコニクス・三高</li> <li>・アルミ銅センター</li> <li>・平和金属</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電装部品</li> <li>・自動車構成部材 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リードフレーム用銅条</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コネクタ部品</li> <li>・プリント基板部品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築資材</li> <li>・電気設備部品 (ブスバー)</li> <li>・アルミ缶材</li> <li>・熱交換器用素材 (チタン他)</li> <li>・医療向けチタン展伸材</li> <li>・空調機器向け材料 (アルミ圧延品・伸銅品)</li> </ul>
装置材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Univertical</li> <li>・東海溶業</li> <li>・マークテック</li> <li>・東北化工</li> <li>・富士カーボン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車構成部材用めっき材料 </li> <li>・金型用溶接材料</li> <li>・ブレーキパッド用カシュー樹脂</li> <li>・自動車生産ライン向け 非破壊検査装置／化成品</li> <li>・電装部品用モーター部品</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント基板用めっき材料 </li> <li>・電波吸収体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非破壊検査装置／検査用化成品</li> <li>・マーキング装置</li> <li>・電気設備部品 (ブスバー)</li> <li>・電波吸収体</li> <li>・電動工具／家電等向けモーター部品</li> </ul>
金属加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大川電機製作所</li> <li>・大羽精研</li> <li>・富士プレス</li> <li>・FUJI ALCONIX Mexico</li> <li>・富士根産業</li> <li>・ジュピター工業</li> <li>・ソーデナガノ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワートレイン向け部品 </li> <li>・EV車載電池向け部品</li> <li>・自動車試作部品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造装置向け部品</li> <li>・実装装置向け部品 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コネクタ端子部品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機用部品</li> <li>・空調機器向け部品</li> </ul>

# 連結貸借対照表 (2024年3月期 1Q)

【流動資産】主に売上債権等の増加

【流動負債】主に仕入債務と借入の増加 (有利子負債) 759億円 (前期末比 +41億円)

【純資産】四半期純利益の積み上げと包括利益の増加 (上場株式の時価評価等)

(百万円)

	2024/3月期 1Q	2023/3月期末	増減		
<b>総資産</b>	<b>199,258</b>	191,890	+7,367		
流動資産	<b>151,513</b>	144,212	+7,300	<b>自己資本比率</b>	<b>(前期末)</b>
固定資産	<b>47,744</b>	47,677	+66	<b>31.9%</b>	<b>(32.6%)</b>
<b>負債</b>	<b>135,189</b>	128,843	+6,346	<b>ネットD/Eレシオ</b>	<b>(前期末)</b>
流動負債	<b>107,445</b>	100,348	+7,097	<b>0.7</b>	<b>(0.7%)</b>
固定負債	<b>27,744</b>	28,494	△ 750		
<b>純資産</b>	<b>64,068</b>	63,047	+1,020		
株主資本	<b>54,340</b>	54,325	+15		

※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

1. 2024年3月期 1Q 決算概要
  2. 2024年3月期 通期業績見通し
  3. 重点取組み事項
- Appendix

# 2024年3月期 通期業績見通し（連結）

（百万円）

	2023年3月期 実績	2024年3月期 通期予想	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	178,333	186,000	+7,666	4.3%
営業利益	8,393	8,400	+6	0.1%
経常利益	8,176	8,200	+23	0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,488	5,500	+11	0.2%
1株当たり 当期純利益（円）	182.39	182.68	-	-
EBITDA（参考）	13,245	12,800	△ 445	△ 3.4%
1株当たり 配当金（円）	54	54（予想）		

【参考】 2024年3月期予算想定レート

Al	US\$ 2,500/MT	Cu	US\$ 9,000/MT	Ni	US\$ 28,000/MT	為替	130円/US\$
----	---------------	----	---------------	----	----------------	----	-----------

# 2024年3月期 通期業績見通し（セグメント別）

(百万円)

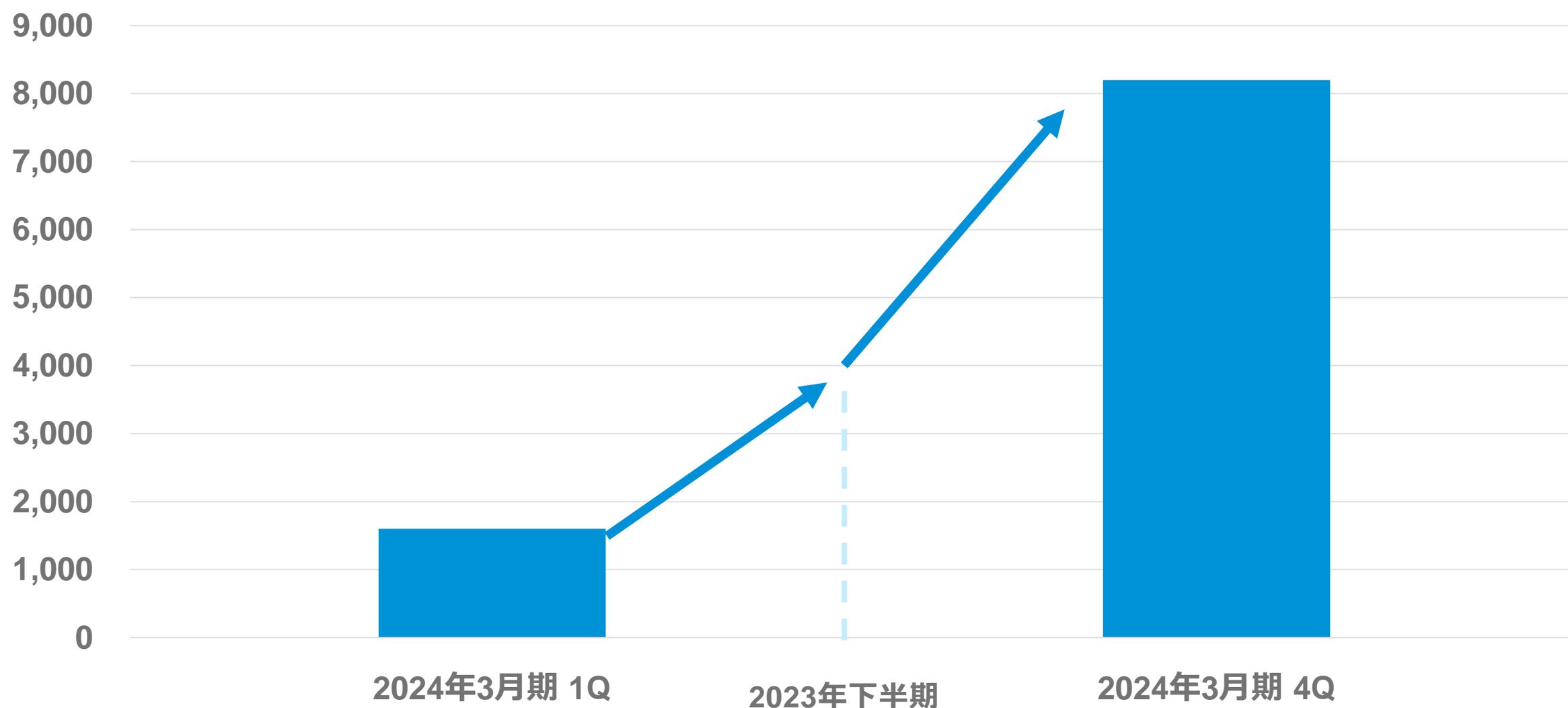
		2023年3月期 実績	2024年3月期 通期予想	増減 (百万円)	増減率 (%)		
商社 流通	電子 機能材	売上高	41,418	47,000	+5,581	+13.5%	
		セグメント 利益	3,601	2,100	△ 1,501	△ 41.7%	
	アルミ銅	売上高	65,861	66,000	+138	+0.2%	
		セグメント 利益	1,171	900	△ 271	△ 23.2%	
	製造	装置 材料	売上高	41,783	42,000	+216	+0.5%
			セグメント 利益	998	1,600	+601	+60.2%
金属 加工		売上高	29,269	31,000	+1,730	+5.9%	
		セグメント 利益	2,416	3,600	+1,183	+49.0%	
合計		売上高	178,333	186,000	+7,666	+4.3%	
		経常利益	8,176	8,200	+23	+0.3%	

※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

# 今後の経常利益の見通し

連結経常利益は下半期にかけて回復を見込む  
通期見通しについては期初見通しを据え置き

2024年3月期 経常利益見通し（累計）

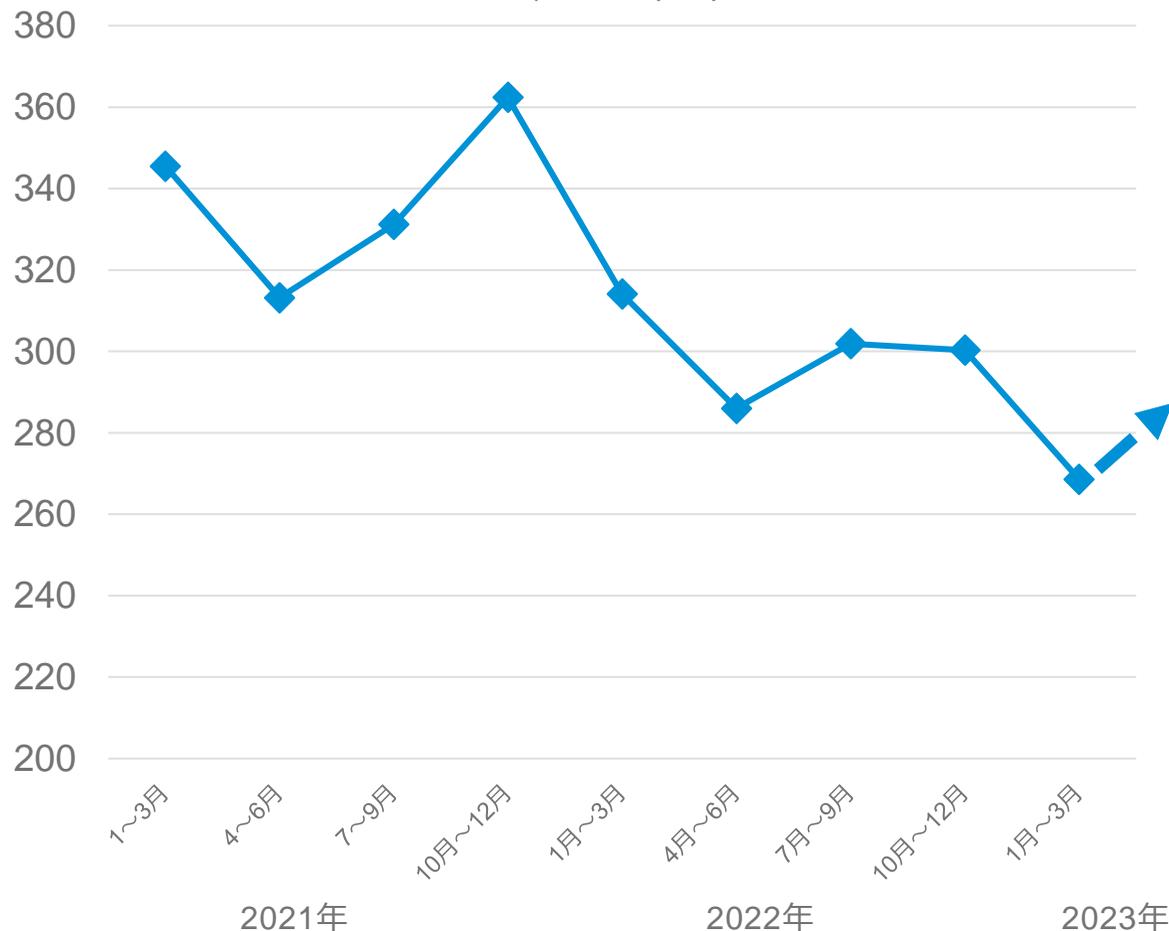


# 外部環境分析

スマートフォン生産は在庫調整を経て下半期以降 徐々に回復  
自動車生産はコロナ前の状況に戻りつつある

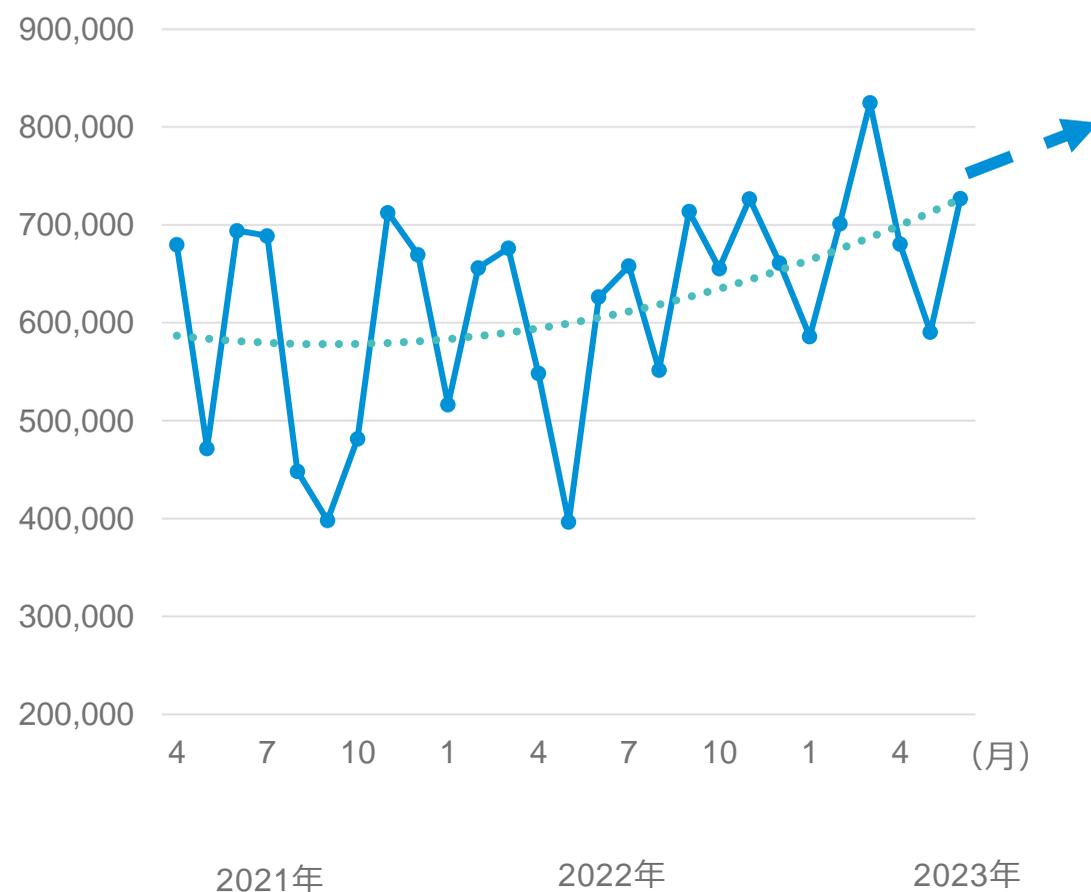
### 世界スマートフォン生産台数 (百万台)

(米 International Data Corporation (IDC)社のデータを基に当社作成)



### 日本自動車生産台数 (台)

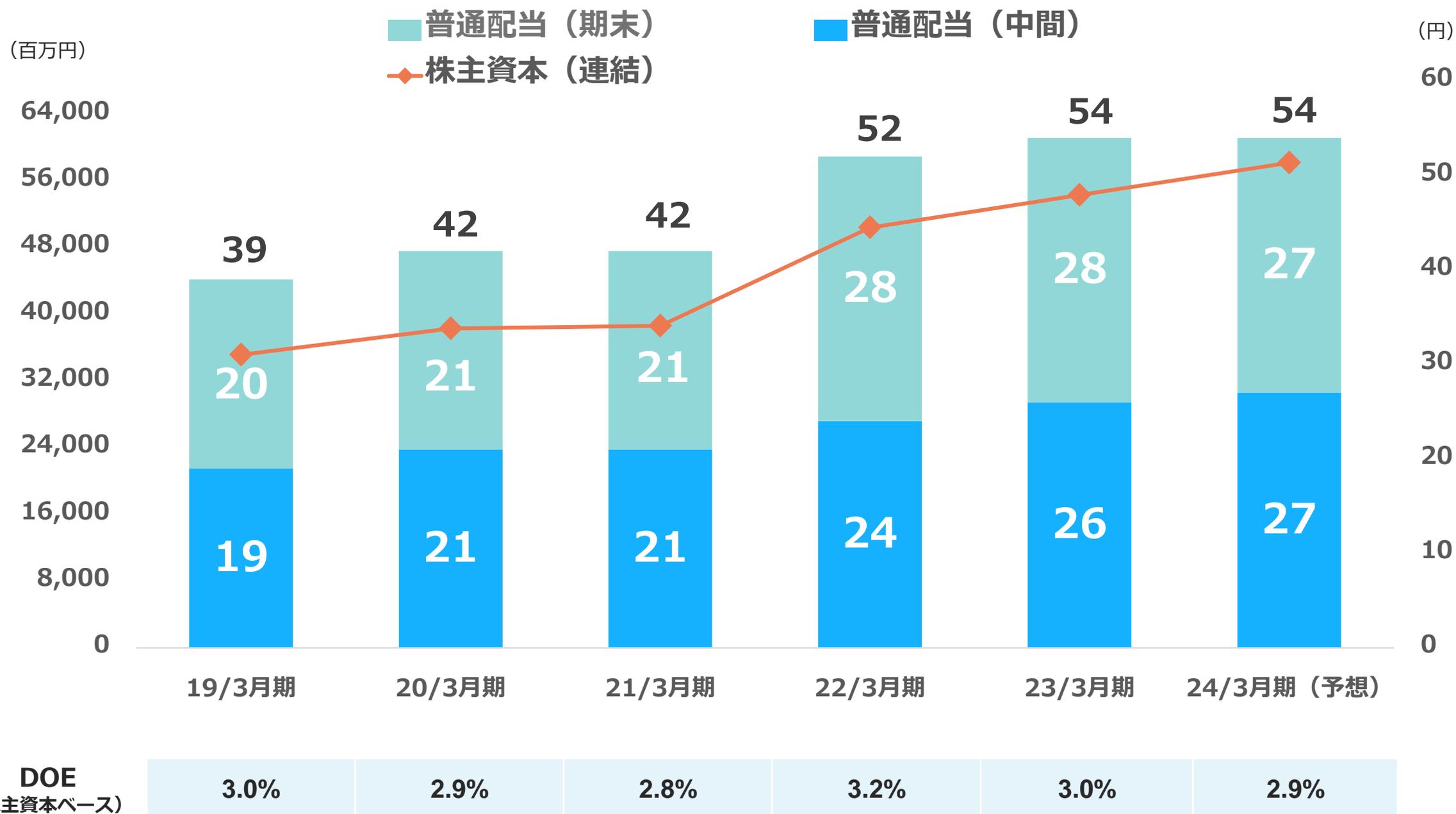
(マークラインズ社のデータを基に当社作成)



# セグメント別通期見通し

<b>電子機能材</b>	<p>【スマートフォンなどIT関連機器向け材料】 7～8月期に在庫水準が改善され、同時に今秋の新型iPhone発売並びに他社新機種の販売展開と合わせて、回復に向かうとみる。</p>
<b>アルミ銅</b>	<p>【自動車関連商材】 メーカーごとに状況のバラツキはあるものの、総じて自動車生産は復調傾向にあると認識。市場動向に合わせて回復を見込む。</p>
<b>装置材料</b>	<p>【自動車】 同上。下半期に掛けて関連商材の出荷は伸長し、価格転嫁も進捗するとみる。</p>
<b>金属加工</b>	<p>【半導体製造装置】 夏から秋にかけて、一部装置の生産が調整局面に入るとみるが、年明けに復調と予測。 生成AIとデータセンター向けの半導体の出荷は強気。</p>

# 【参考】 配当額・DOE・株主資本の推移



1. 2024年3月期 1Q 決算概要
  2. 2024年3月期 通期業績見通し
  3. 重点取組み事項
- ## Appendix

# アルコニックスの“人的資本強化施策”

アルコニックスグループ  
人的資本マテリアリティ

「多様な人財の創造的な活躍をサポートする登用・育成制度と職場環境を整備する」

商社流通業が祖業の当社は「人財」が企業価値の中核であると認識し、  
最重要の整備項目として位置づけ

## 次世代「人財」の育成・活用

### 社員に応える：給与・待遇

- ◆ インフレと最高益を考慮した給与水準の適正引上げ
- ◆ 法定水準以上の育児・介護休暇給付
- ◆ 健康経営への取組

### 社員を鍛え育てる：教育

- ◆ 研修制度の体系的拡充

#### 年間教育研修費用（単体）

2023年3月期（実績） 1,320万円



2026年3月期（計画） 4,500万円

- ◆ グループ内人事交流の活発化

### 社員のチャレンジを促す：機会

- ◆ 女性活躍推進行動計画
- ◆ キャリア希望申告制度
- ◆ 異動希望申告制度の導入



従業員の個性に応じた  
柔軟な機会の提供体制を拡充

1. 2024年3月期 1Q 決算概要
2. 2024年3月期 通期業績見通し
3. 重点取組み事項

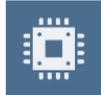
## Appendix

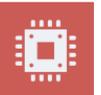
## 為替・市況の動向（商社流通セグメント）

	2023年3月期1Q 実績値平均	2023年3月期 実績値平均	2024年3月期 予算想定レート	2024年3月期1Q 実績値平均
アルミニウム	US\$ 2,905/MT	US\$ 2,511/MT	US\$ 2,500/MT	US\$ 2,286/MT
銅	US\$ 9,529/MT	US\$ 8,548/MT	US\$ 9,000/MT	US\$ 8,495/MT
ニッケル	US\$ 29,028/MT	US\$ 25,627/MT	US\$ 28,000/MT	US\$22,399/MT
為替 (US\$/円)	129.57円/US\$	135.47円/US\$	130円/US\$	137.37円/US\$

# グループ取扱品と最終製品

※濃色部は当社の注力3分野に該当

商社流通			
電子機能材		アルミ銅	
グループ取扱品	最終製品	グループ取扱品	最終製品
<ul style="list-style-type: none"> <li>化合物半導体等電子材料</li> <li>レアアース細片</li> <li>レアアースインゴット</li> <li>チタンスポンジ</li> <li>レアアース化合物</li> </ul>	 EV/FCV 部品材料  スマートフォン、タブレット端末  IT機器部品材料  電池材料 (車載用・IT機器用等)  ニッケル (鉄鋼製造材料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミ圧延品</li> <li>アルミ合金塊</li> <li>各種伸銅品</li> <li>黄銅棒</li> <li>メタルスクラップ</li> <li>チタン展伸材</li> </ul>	 自動車 (ボディ)  バイク (アルミフレーム等)  飛行機 (構造部材)  リードフレーム (半導体用)  エアコン (空調用銅管)  アルミ缶

製造			
装置材料		金属加工	
グループ取扱品	最終製品	グループ取扱品	最終製品
<ul style="list-style-type: none"> <li>めっき材料</li> <li>カーボンブラシ</li> <li>溶接材料</li> <li>カシュー樹脂</li> <li>非破壊検査装置</li> <li>マーキング装置</li> </ul>	 自動車 (めっき・摩擦調整材)  鉄鋼 (マーキング装置)  建材 (めっき材料)  半導体 (プリントめっき)  発電所、プラント (非破壊検査)  電波吸収体	<ul style="list-style-type: none"> <li>精密切削加工部品</li> <li>精密研削加工部品</li> <li>高精度プレス部品</li> </ul>	 自動車 (駆動部品、試作部品)  スマートフォン、タブレット端末  飛行機 (エンジン部材)  チップマウンター  エアコン (熱交換器・各種部品)

# 中期経営計画2023（2024年3月期～2026年3月期）の基本方針

製造セグメントの強化等を通して基礎収益力を底上げし、  
グループ全体の持続的成長を実現

## 主要重点施策

## 数値目標

### ① 財務体質強化

- 既存事業の収益力強化  
連結グループ会社への設備投資や受注開拓支援  
「稼ぐ力」を意識したEBITDA指標の採用
- 投資効率強化、資金調達の効率化・多様化  
資本コストを考慮したROIC目標  
DOE 3.0%の目標を維持

### ② 人的資本強化

- 給与・教育・機会の抜本的強化  
採用力向上と育成・定着の促進  
人事体系、評価体系の継続的な見直し

### ③ ガバナンス強化

- 現中期経営計画の中心的課題に加え、  
グループコンプライアンス体制の強化

(億円)	2023年3月期 実績	2026年3月期 計画
売上高	1,783	2,230
営業利益	83	122
経常利益	81	120
<b>EBITDA</b>	<b>132</b>	<b>160</b>
ROE	10.5%	12.0%
ROIC	4.6%	6.3%
DOE (株主資本ベース)	3.0%	3.2%

# アルコニックスのサステナビリティ

## サステナビリティ基本方針

持続可能な「夢みた未来」のために、経営理念に示された行動規範・価値観にもとづいて、多様な人財とたゆまぬ努力で、すべてのステークホルダーの皆さまとともに、環境・社会・ガバナンス（ESG）の課題に取り組めます。

【脱炭素・資源循環といった環境親和型ビジネスを推進する】

- ① 自社工場への太陽光発電の導入
- ② EV他次世代自動車向け商材の拡販
- ③ レアメタル再資源化技術の開発支援

E  
(環境)

【コンプライアンス・リスクマネジメント体制を中心とした内部統制を一層強化する】

- ① グループ内部通報制度の整備
- ② グループコンプライアンス研修
- ③ 監査役業務室・内部統制業務室の設置

G(ガバナンス)

## 最重要項目

【多様な人財の創造的な活躍をサポートする登用・育成制度と職場環境を整備する】

- ① 全社向け選択型研修システムの導入
- ② 女性活躍推進行動計画の設定  
(2025年：女性社員比率35%以上)
- ③ 法定基準を上回る  
介護・育児支援制度の導入

H  
(「人財」)

【ステークホルダーとの関係構築を強化し、人権を尊重する取り組みを具体化する】

- ① グループ会社の地元密着型地域貢献
- ② 投資家・株主とのより一層の対話
- ③ グループ健康宣言の開示

S  
(社会)

アルコニックス  
の  
マテリアリティ  
(重要課題)

当社グループの地域貢献取組は  
統合報告書2022 P40参照

## シェアードリサーチ社によるアナリストレポート

中立性を重視し、第三者視点での調査、分析に基づいて作成されたシェアードリサーチ社のアナリストレポートを公開しています。事業構造や競争環境、優位性等の網羅的な内容となっており、投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただき、投資判断のご参考としていただければ幸いです。

[アルコニックス株式会社 | Shared Research](#)

## 本決算説明会のアーカイブ配信

本決算説明会のアーカイブ動画（日・英）を後日当社IRページや大和アイ・アール社のサイトにて配信予定です。

[IR情報 | アルコニックス株式会社 \(alconix.com\)](#)

[投資家向け説明会動画 | 大和インベスター・リレーションズ \(daiwair.co.jp\)](#)

## IRに関するお問い合わせ

下記のメールアドレスまでご連絡ください。

[ir@alconix.com](mailto:ir@alconix.com)